

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価												今後の展開・改善点等	備考								
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価													
巡回・窓口相談指導事業	小規模零細企業は急激な経済環境の変化や政策の影響により企業経営における様々な課題が生じている。これに対応するためには専門的な支援や助言が必要であり、商工会は経営指導や伴走型支援を提供することで健全な企業の育成と持続可能な成長を支援していく。具体的には事業計画策定、金融、税務、労務等の経営全般における支援を行うことで経営改善に資する指導を行うことを目的とする。	・巡回窓口指導実企業数 204件 ・巡回窓口指導延べ件数 742件 ・課題解決提案件数 32件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数			課題解決提案件数			巡回窓口業務やセミナー、公式LINEを活用した情報提供を通じて、小規模事業者の多様化する課題やニーズに対応し、経営支援を強化した。特に、積極的に経営に取り組む事業者の掘り起こしを図り、伴走支援を通じて具体的な課題解決へと繋げることができた。 また、物価高騰や賃上げなど、急激な事業環境の変化に関する相談対応を行い、事業承継に関する支援も継続して実施した。これにより、経営の安定化や次世代への円滑な事業承継をサポートすることができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	本年度は、廃業による会員脱退が多く、補助金の相談も減少傾向にあった。依然として物価高や賃上げが事業者の経営を圧迫している状況にあるため、経営計画の作成推進を図ることで経営の安定化を目指す。尚、セミナーの参加率は高く、特にAI関連のテーマに対する関心が強く見られた。今後は、事業承継支援や創業支援を強化し、会員減少の抑制に努めるとともに、AI活用など時代のニーズに即した支援を充実させ、事業者の経営改善を図る。					
				目標数値	600	実績数値	742	目標数値	20	実績数値					32	A	B	現行どおり	現行どおり						
																					目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②	
																									A
記帳継続指導	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法や決算等の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上を支援する。	・指導対象者数 79件 ・指導延べ日数 531日 ・指導延べ回数 729回	小規模事業者	指標	指導対象事業者数			指標			年間を通しての記帳指導と源泉・年調・決算申告の指導を通し、申告納税制度への理解と正しい記帳による正しい申告の重要性を認識してもらえた。 また、e-Taxによる電子申告も多くの事業主がその利便性を認識し、理解が深められた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	自主申告納税制度への理解を深め、正しい記帳・申告を推進し、経営力の向上を支援していく。					
				目標数値	74	実績数値	79	目標数値		実績数値						B	A	上げる	実施方法①		実施方法②				
																						目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な経営・金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、小規模事業者が抱える経営上の問題点に対応する実務的な講習会及び個別指導会を開催する。	集団指導 5回51人 (内、経営革新1回14人、経営一般4回37人) 個別指導 20回114人 (内、経営一般1回2人、金融1回2人、税務18回110人) 計 25回165人	小規模事業者	指標	講習会参加者数			指標			小規模事業者の経営等に於いて、必要とされる事項を開催することができ、受講者の資力の向上を図ることができた。個別指導では専門家より指導を受けられ課題解決へと繋がり、経営計画に前向きな姿勢をとれるようになった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	適宜ニーズにあった内容及び時期を思案し開催する。					
				目標数値	178	実績数値	165	目標数値		実績数値						A	A	現行どおり	実施方法①		実施方法②				
																						目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②
地域振興事業(観光事業委員会魚貝づくし部会事業)	渥美半島の観光資源を活かした物産品開発や観光サービスについて調査・研究・開発を行った結果、渥美の観光食材づくりの位置づけとして、「貝」を取り上げ、平成21年2月14日を皮切りに「貝づくし渥美」をスタート。さらには貝に限らず三方を海に囲まれている渥美半島を「魚」としてもPRしていくための「魚貝づくし(仮称)」を打ちだし、活気ある観光地への位置づけを目指していく。	協力店全体会議等6回 ・4月8日は貝の日PR ・4月8抽選会の開催 ・押し寿司のPR 押し寿司(カガミガイとオオンジミ)試食会 渥美あさりとかガミガイの押し寿司の販売 ・伊良湖クリスタルポルト設置看板を活用した販売促進 14店舗参加 ・他団体への協力 4回	飲食店、宿泊施設を中心とした商工業者	指標	加件件数及び構成員数			指標			恒例となっている4月8日貝の日イベントの実施とデジタルスタンプラリーを実施し地域へのPR効果はあったが、地域資源である貝類の減少及び魚貝類の不安定化により、牛、豚、野菜、スイーツ等安定して供給ができる食材も取り入れメニューを増やした組織として事業実施した。R7年1月より伊良湖クリスタルポルトに設置した「美味渥美」大型看板は観光客に好評であった。また、魚貝類の減少は、地域をPRする上で大打撃を受けているが、広い視点での食材確保をすることで今後の地域振興に一歩前進できることを実感した。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	満足度	補足	目標①	目標②	魚貝類のみでなくその他(肉類、野菜、スイーツ等)も含めたPRをすることで渥美半島の良さをあらためて知っていただく取組みを検討。たばこブランドの食材PRにも繋げる。					
				目標数値	25	実績数値	33	目標数値		実績数値						B	B	現行どおり	実施方法①		実施方法②				
																						目標達成度	必要性	実施方法①	実施方法②

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価														備考			
				目標①			目標②			得られた効果		ABCD評価				今後の展開・改善点等					
地域振興事業(観光事業委員会伊良湖温泉部会事業)	令和４年４月より配湯が始まった「伊良湖温泉」の現状と今後如何にしたら地域の活性化に繋がるかを関係事業者とともに調査研究を行い、その問題点と解決方法を検討し、PR等観光地としてやるべき事業を明確化する。	当初、温泉関係事業者(宿泊施設以外含む)を募り、「温泉」というアイテムを前面に押し出し地域PRをする予定であったが、渥美半島観光ビューローより、既存の温泉部会(ビューロー内組織)でのPR活動を積極的に進めてほしい、という要望があり当会での温泉事業は当面活動を中止することとなった。 (当会からもビューロー温泉部会に参加し情報の共有をしている)	飲食店、宿泊施設を中心とした商工業者	指標	加件件数及び構成員数 (達成度 0.0 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	D	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	
				目標数値	25	実績数値	0	目標数値	実績数値	D	必要性				廃止		実施方法①	実施方法②			
										目標達成度	D				廃止						
										D											
商工業振興事業(ポイントカード等推進事業)	ポイントカード事業の推進により、顧客確保、商圏内からの購買力の流出防止や大型店対策を図り、商工業者の発展及び地域産業の活性化を図る。	販売促進並びに消費者サービスを目的として、カード事業の宣伝活動及び共同売出し、キャッシュレス現金チャージ等のイベントを開催。 折込チラシ１４回 販売促進イベント回数２９回	事業加盟店	指標	販売促進イベント回数 (達成度 145.0 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	原材料等の高騰や消費行動の変化等により、加盟店の利益が圧縮され、経費削減対策として加盟店脱退が相次いだ。そのような状況下、田原カードと連携し、引き続き共同イベントの開催や店舗情報を発信し、新規顧客の確保・購買力の流出防止に努める。
				目標数値	20	実績数値	29	目標数値	実績数値	B	必要性				現行どおり		実施方法①	実施方法②			
										目標達成度	C				現行どおり						
										A											
人材育成事業(外国人実習生受入事業)	外国人技能実習生受入企業の活性化と国際貢献を目的として、外国から意欲ある優秀な若者を受け入れ、わが国の優れた「技術・技能・知識」を職場で実際に作業をしながら習得し、帰国後に母国の産業振興に寄与できる人材の育成を図る。	新規受入人数 ３人 企業巡回１２回 技能検定試験の実施	渥美商工会会員	指標	技能実習生新規受入人数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	新たな受け入れ企業の発掘に努める。
				目標数値	3	実績数値	3	目標数値	実績数値	B	必要性				上げる		実施方法①	実施方法②			
										目標達成度	B				現行どおり						
										A											
青年部事業	青年部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	青年部事業回数 ４６回	青年部員	指標	事業の開催回数 (達成度 115.0 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	部員の年齢卒業等で部員数は減少傾向にある。部員による声掛け、新入会員候補者を青年部事業に招待する等、会員増強に繋げる。また令和7年度は役員が新体制になるため、新規事業を企画・開催し、青年部員の資質向上を図る。
				目標数値	40	実績数値	46	目標数値	実績数値	B	必要性				現行どおり		実施方法①	実施方法②			
										目標達成度	B				現行どおり						
										A											
女性部事業	女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与する。	女性部事業回数 19回	女性部員	指標	事業の開催回数 (達成度 95.0 %)			指標	(達成度 %)			総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	部員の高齢化と事業所の廃業等による部員数は減少傾向にある。魅力ある企画と事業を充実させ部員増強に繋げる。
				目標数値	20	実績数値	19	目標数値	実績数値	B	必要性				現行どおり		実施方法①	実施方法②			
										目標達成度	B				現行どおり						
										B											

団体名： 渥美商工会

事業名	事業概要(背景・目的)	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考						
				目標①			目標②			得られた効果	ABCD評価				今後の展開・改善点等								
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告・納付申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	算定基礎賃金報告書に基づき労働保険料の申告・納付各種届出の事務手続巡回・窓口指導など従業員把握とともに、加入促進。 委託事業所数 51件	従業員を雇用している商工業者	指標	委託事業所数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			労働保険料の納入をはじめ、各種事務手続きを代行することで、商工業者の事務の負担軽減が図れた。また、労働保険相談窓口として対応でき、企業の適正な労働保険業務に繋がった。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	今年度は会員数の増減がなく安定した運営ができ、e-Gov電子申請アプリ導入により事務処理の効率も向上した。一方で、事業者の廃業や人手不足は依然として課題であり、現状維持が目標である。今後も継続的な加入促進と安定運営を目指す。	
				目標数値	51	実績数値	51	目標数値		実績数値						目標達成度		B	必要性	現行どおり	実施方法①		実施方法②
税務関係団体指導事業(法人会事業)	法人会の税務支援・地域貢献の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	本部事業 15回 本部事業研修会 1回 支部事業 7回 支部事業研修会 2回 支部事業社会貢献事業1回	法人会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 130.0 %)			指標	(達成度 %)			支部事業を実施することで、地元経営者への税務の啓発を図った。その他に源泉及び年末調整の指導会を開催、管内の小学校新一年生への「れんらくちょう」を配布し、法人会活動のPRが図れた。	総合評価	B	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	加入メリットのPR強化を図り会員増強を目指したい。また、会員に向けた税の啓発を図る事業や社会貢献事業を実施していく。	
				目標数値	20	実績数値	26	目標数値		実績数値						目標達成度		B	必要性	現行どおり	実施方法①		実施方法②
税務関係団体指導事業(青申会事業)	青色申告会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資する。	役員会等 5回 講習会 1回 税務指導会 18回 管内事業への出席 12回 関係団体への出席 6回	青色申告会会員	指標	各種事業の回数 (達成度 140.0 %)			指標	(達成度 %)			所得税を中心とした、源泉や年末調整、決算書作成及び消費税等、年間をとおしての指導会の開催により会員の方の税知識の向上を図るとともに、実際の申告等の業務においても円滑な処理を行うことが出来た。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	自主記帳・申告納税が浸透してきたが、青色申告のメリットである65万円控除の要因となる複式帳簿を作成している会員が少ない。会計ソフト等を利用した複式帳簿作成を推進し、会員の記帳能力向上に努める。	
				目標数値	30	実績数値	42	目標数値		実績数値						目標達成度		A	必要性	現行どおり	実施方法①		実施方法②
若手後継者等育成事業	若手後継者である青年部員が、地域経済の発展(マクロ)と小規模事業者の持続的な発展(ミクロ)の両面から、その課題解決に向けた取り組みを行うことで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を目的とする。	・鳥羽伊良湖観光交流事業 第1回：応募期間10月26日～12月31日 応募数：315通 第2回：応募期間2月14日～3月16日 応募数：242通	一般参加者 小規模事業者	指標	友情クイズ応募者数 (達成度 557.0 %)			指標	事業承継セミナー参加者数 (達成度 80.0 %)			広域的な連携を行うことで、田原市の魅力的な地域資源をより広くPRし、地元客はもちろん、観光客の取り込みができた。青年部員が地域経済の問題に対し常に意識を持つ感覚を養い、解決に向けた経験を得ることで、地域経済の中心を担っていく者としての資質の向上を図ることができた。	総合評価	A	事業実施評価の	自己評価	事業者への調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	鳥羽伊良湖航路で繋がっている鳥羽市、鳥羽商工会議所青年部との交流を再構築し、交通機関である伊勢湾フェリー乗船客の増加を目的とした企画を実施する。今後も、持続的に実施可能な企画を立案する。	
				目標数値	100	実績数値	557	目標数値	15	実績数値	12					目標達成度		B	必要性	現行どおり	実施方法①		実施方法②

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。